

報告書抄録

ふりがな	こだけしもみやおいせき にしつばいわやだにいせき							
書名	小竹下宮尾遺跡		西坪岩屋谷遺跡					
副書名	一般国道9号(名和淀江道路)の改築に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書							
巻次	X VI							
シリーズ名	鳥取県埋蔵文化財センター調査報告書							
シリーズ番号	29							
編著者名	牧本哲雄、加藤裕一、恩田智則、森本倫弘、長尾かおり							
編集機関	鳥取県埋蔵文化財センター							
所在地	〒680-0151 鳥取県鳥取市国府町宮下1260番地 TEL (0857)27-6711							
発行年月日	2010(平成22)年1月27日							
ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
		市町村	遺跡番号					
こだけしもみや 小竹下宮尾遺跡	とっとりけんさいほくぐん 鳥取県西伯郡 だいせんちようおおあざこ 大山町大字小 だけあざ 竹字下宮尾1177 ほか	31386	4-323	35° 30'34"	133° 31'17"	20080526 ～ 20081008	7,200㎡	一般国道 9号(名和 淀江道路) の改築
にしつばいわやだに 西坪岩屋谷遺跡	とっとりけんさいほくぐん 鳥取県西伯郡 だいせんちようおおあざにし 大山町大字西 つばあざいわやだに 坪字岩屋谷989-1 ほか	31386	4-325	35° 30'22"	133° 30'49"	20081006 ～ 20081210	2,400㎡	一般国道 9号(名和 淀江道路) の改築
所収遺跡名	種別	主な時代		主な遺構	主な遺物	特記事項		
小竹下宮尾遺跡	集落	弥生時代		竪穴住居跡 掘立柱建物跡 土坑	弥生土器、石器、 鉄器			
	集落	古代		道路状遺構	土師器、須恵器、 鉄滓	波板状凹凸面、硬化面		
	集落	中世～近世		土坑	青磁	製炭土坑		
	その他	時期不明		掘立柱建物跡 溝 土坑 ピット		落とし穴		
西坪岩屋谷遺跡	その他	弥生時代		—	弥生土器			
	墳墓	古墳時代		古墳周溝	—	円墳		
	その他	古代		—	土師器、須恵器			
ひがしつばなかばやし 東坪中林遺跡	その他	時期不明		溝 土坑	石器	落とし穴、 サヌカイト石核・剥片、 黒曜石剥片		
						近現代遺物		
こだけかみたかの 小竹上鷹ノ尾遺 跡	その他	弥生時代			弥生土器			
		中世			土師質土器			
		近世			陶器、磁器			
		時期不明		溝状遺構 土坑 ピット		落とし穴		

所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
くらだにしなかつた 倉谷西中田遺跡	その他	弥生時代		弥生土器	
	集落	古代	段状遺構 ピット	土師器、須恵器	
	集落	中世	溝状遺構 土坑	土師器、須恵器、 瓦質土器、青磁、 石器、羽口、鉄 滓、有機質遺物	瑪瑙剥片、 鍛冶関連遺物、 種子
	集落	近世	溝状遺構	陶器、磁器	
	その他	時期不明	溝状遺構 ピット		
くらだにあらた 倉谷荒田遺跡	その他	縄文時代		縄文土器	
		弥生時代		弥生土器	
	集落	古墳時代	竪穴住居跡	土師器、須恵器	
	その他	中世		瓦質土器	
		近世		瓦	
	その他	時期不明	段状遺構 溝状遺構 土坑	鉄器、鉄滓	
とよしげかみかないだにみね 豊成上金井谷峰 遺跡	その他	縄文時代		縄文土器	
		弥生時代		弥生土器	
	集落	古墳時代	段状遺構	土師器、須恵器	
	その他	時期不明		石器、鉄滓、 流動滓	黒曜石剥片、打製石鋏
まつがわらかみおくだ 松河原上奥田第 2遺跡	その他	縄文時代		縄文土器	
		弥生時代		弥生土器	
		古墳時代		土師器、須恵器	
		時期不明		石器	
要約	<p>小竹下宮尾遺跡では、古代の道路状遺構を検出し、道路の構造について知見を得た。また、弥生時代の竪穴住居跡、15世紀後半から17世紀前半の製炭土坑などを検出している。</p> <p>西坪岩屋谷遺跡では、西坪岩屋谷古墳の周溝の一部を検出した。周溝の形態から判断し、円墳と考えられる。古墳に伴う遺物が出土していないことから、築造時期は不明である。そのほか、区画と目される溝を検出している。</p> <p>東坪中林遺跡では、遺構は検出されず、遺物も近現代のものが出土するのみである。よって、調査対象地には遺跡が現存しないことが確認できた。</p> <p>小竹上鷹ノ尾遺跡では、帰属時期が不明ながら溝状遺構、土坑などを検出した。また、古墳時代の包含層を確認し、弥生時代、中・近世の遺物も出土している。よって、調査対象地に遺跡が現存することが確認できた。</p> <p>倉谷西中田遺跡では、古代から近世を中心とした集落遺跡が、調査対象地に現存することを確認した。古代の段状遺構、中・近世の溝状遺構などを検出した。また、弥生時代及び中世の包含層を確認している。</p> <p>倉谷荒田遺跡では、古墳時代前期を中心とした集落遺跡が、調査対象地に現存することを確認した。また、調査地内より縄文時代から近世にかけての遺物が出土している。</p> <p>豊成上金井谷峰遺跡では、古墳時代前期の集落遺跡が、調査対象地に現存することを確認した。また時期不明ながら、溝状遺構、土坑なども検出している。遺物は、縄文土器、弥生土器、須恵器のほか、石器も出土している。</p> <p>松河原上奥田第2遺跡では、縄文時代の包含層を確認したほか、弥生時代から古墳時代までの遺物が出土している。遺構は検出していないが、調査対象地に遺跡が現存することが確認できた。</p>				

鳥取県埋蔵文化財センター調査報告書 29

一般国道 9 号(名和淀江道路)の改築に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書 XVI

鳥取県西伯郡大山町

小竹下宮尾遺跡 西坪岩屋谷遺跡

発 行 2010年 1月27日

編 集 鳥取県埋蔵文化財センター

〒680-0151 鳥取市国府町宮下1260番地

電 話 (0857)27-6711

発行者 鳥取県埋蔵文化財センター

印 刷 総合印刷出版株式会社

〒680-0022 鳥取市西町 1 丁目215番地